

例会報告

令和6年度総会&「生物多様性のお話」

佐賀市 (2023.4.28)

令和6年度が始まりました。ゴールデンウィークともあってか、会場の東よか干潟ビクターセンター「ひがさす」には3組の団員さんが集まりました。まずは総会行事として、前年度の例会報告及び決算報告、今年度の年間計画及び予算案を審議し、承認を得ることができました。また、団長の門出政則先生からは、いろんなことに興味を持ち、楽しく科学に親しみましょうとあいさつを頂きました。年間計画は別紙をご覧ください。今年もドキドキ、ワクワクの例会を計画しています。状況に応じては年間計画を変更することがありますのでご了承ください。また、変更等については例会の前日夜までにホームページで案内します。なお、決算報告及び予算案については6ページをご覧ください。

では、お待ちかね、亀井さんをお招きしての「生物多様性」の講演会です。今年1月の例会で見学した「やながわ有明海水族館」名誉館長の亀井裕介さん。亀井さんは佐賀大学農学部2年生、佐賀新聞で「サガそう水辺の生き物」連載中です。

亀井さんから有明海の生き物を中心にクイズ形式で理解を深めました。ムツゴロウとハゼの違いは？、有明海の潟土はどこから来た？などから、佐賀平野の水路の長さは何キロ？など、最終的に全問正解の団員さんはいなかったようです。生き物の説明の中で、「この子かわいいんですよねー」などと愛着を込めて話される様子は、私たち聴く者をその生き物の世界へ誘っているかのようで、すーっと引き込まれていきました。「自然を守る！」誰もが分かっている口にするのですが、どうやって守っていくべきか。亀井さんは「自然を知ることによって守る。」と強調されました。そして、最近、有明海における海苔漁の不作理由の一つが山からの栄養塩の不足によることに触れ、有明海の自然を守るために有明海の自然だけ知るのではなく、有明海にそそぐ川でつながっている山のことを知ることが大切だと付け加えられました。あっという間の1時間が過ぎていきました。今回貴重なお話をしていただいた亀井さんに感謝申し上げます。(参加者13名)

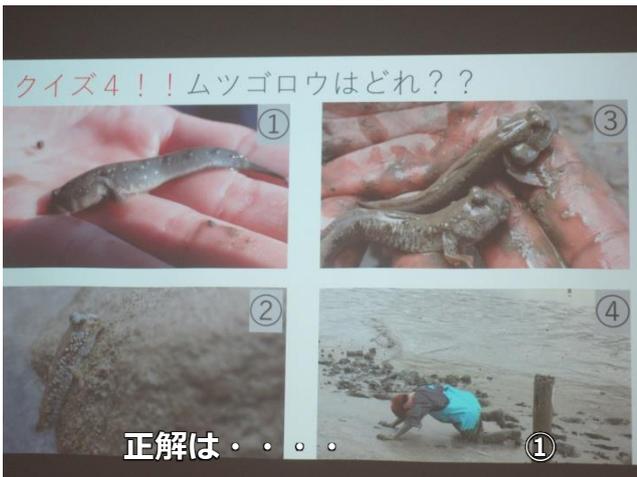




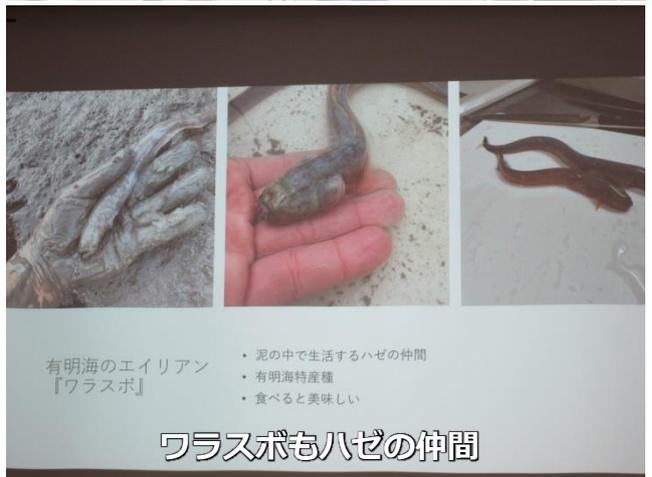
今回の講師 亀井さん



有明海の干満の差ってすごい！



正解は・・・



有明海のエイリアン
【ワラスボ】

- 泥の中で生活するハゼの仲間
- 有明海特産種
- 食べると美味しい

ワラスボもハゼの仲間



ウナギの水槽の前で解説



今日の話に出てきた淡水魚もいるよ



この水槽の中は珍しい魚ばかりなんだよ



とても可愛い魚ばかりだね